

令和6年度 長浜米原しょうがい者自立支援協議会 部会等報告書

部会/プロジェクト	就労選択支援サービスプロジェクト	座長/副座長	座長 鍵弥(ピットイン) /副座長 阿藤(はたくらこほく)
検討課題	新たな障害福祉サービス「就労選択支援サービス」の圏域内での適切な運用に向けての枠組みを決める (キーワード:公平中立性、本人の就労の選択を支援、多機関連携によるケース会議、初期アセス、モニタリングの場合)		
活動計画(活動予定)			
・自己紹介 ・プロジェクト発足の経緯 ・年間スケジュールの共有	・制度理解 ・選択支援が意図するところの共通理解	・選択支援サービス運用に向けて圏域で決めなければいけないことの把握(どこにどんな枠組みが必要か)①	・選択支援サービス運用に向けて圏域で決めなければいけないことの把握(どこにどんな枠組みが必要か)②
活動日及び活動内容			
2024/5/9	2024/6/13	2024/7/11	2024/8/8
・自己紹介 ・プロジェクト発足の経緯 ・年間スケジュールの共有 ・プロジェクト会議が目指すところの共有	・就労選択支援サービスについての勉強会 講師:滋賀県障害福祉課奥田氏 意見交換 ・障害者就労ネットワーク事業(企業・福祉関係者を交えた協議の場)へ参加するにあたっての意見集約	・令和6年度障害者就労ネットワーク事業第1回会議(6/27)の共有 ・就労選択支援サービスの基本プロセスの確認および課題把握	・今までの意見および想定される課題等を整理 ・2グループ(「就労選択支援サービスで行うこと」「自立支援協議会等で行うこと」)に分かれて協議。
活動計画(活動予定)			
枠組みの具体的な中身について協議(どのような運用にするか)①	枠組みの具体的な中身について協議(どのような運用にするか)②		枠組みの具体的な中身について協議(どのような運用にするか)④
活動日及び活動内容			
2024/9/12	2024/10/10	2024/11/14	2024/12/12
・前回(8/8)と同様、2つのグループ:就労選択支援サービスに関する「きいろチーム」、自立支援協議会のことは「みどりチーム」と称し、意見交換を実施。	・2つのグループに分かれて協議した内容を共有 ・今年度国が実施している就労選択支援モデル事業のモデル地域向け説明会の動画を視聴、その後感想を共有		・県より各圏域での就労選択支援の開始に向けた検討状況についての報告依頼 ・アンケート実施に向け、質問項目の検討【目的】就労選択支援サービスの認知状況、サービス実施意向確認等のため 【対象】就労継続支援A型・B型、就労移行支援(就労定着支援)+相談支援事業所 【方法】オンライン ・2つのグループに分かれて協議
活動計画(活動予定)			
枠組みの具体的な中身について協議(どのような運用にするか)⑤	枠組みの具体的な中身について協議(どのような運用にするか)⑥	枠組みの具体的な中身について協議(どのような運用にするか)⑦ 今年度の振り返り	
活動日及び活動内容			
2025/1/9	2025/2/13	2025/3/13	
・1/10国から委託受けている法人より就労選択支援実施マニュアル作成に向け、県内の取組みについてヒアリング⇒座長と事務局で対応予定 ・支援関係機関向け湖北圏域の手引書作成(案)について ・圏域のアンケート結果について共有【期間】12/18~26【回答】14事業所 ・グループに分かれて協議	・国や県の取組みについて情報共有 ・手引きの作成に向け協議 ・2チームに分かれて協議 きいろ:就労選択支援サービス内で実施するアセスメントの具体的な内容の整理と統一すべき作業や評価基準について検討 みどり:就労選択支援サービス前後の全体の流れと、その中で協議会が担う部分の整理とその体制について意見交換	・今年度の振り返り 各メンバーの感想や学びを共有 ・2チームに分かれて協議 きいろ:アセスメントするにあたってのチェックシート評価基準の統一について意見交換 ・みどり:国からの資料について意見交換	
成果と課題			
・情報共有と現状把握:国や県等からの制度概要説明、先進地事例紹介、アンケート調査結果等を通じ現状把握を行った ・課題整理と解決策検討:圏域全体で就労選択支援サービス利用者を支える体制づくりについて、2つのチームに分かれて協議。①就労選択支援サービス事業所と協議会が役割分担し、計画相談がない方を担当する行政のサポートを協議会が担う体制構築。 ②圏域の就労選択支援サービス事業所が概ね同じ基準でアセスメント等が実施できるように様式や判断基準について統一を図る ・関係者向けに手引きを作成していく。今年度完成を目指し、次年度、関係者へ周知を図っていく			

令和 6 年度 長浜米原しょうがい者自立支援協議会 部会報告書(作業班・プロジェクト)

部会作業班・プロジェクト名		「地域生活塾」プロジェクト会議		座長/副座長	座長 野寺(すだち)
検討課題	当事者サポーター推進班で実施してきた取り組みを圏域に必要な資源として位置づけし、今後も継続的に実施していくための手立て等を検討する。必要に応じ両市に対し事業化への提案等を行う。				
活動計画(活動予定)					
プロジェクト会議の発足の経緯と目標の共有、今後の進め方		・地域生活塾卒塾生交流会について ・卒塾生の評価について	・地域生活塾卒塾生交流会について ・卒塾生の評価について	・地域生活塾卒塾生交流会についてのまとめ ・提言について	
活動日及び活動内容					
2024/4/24		2024/5/22		2024/6/26	
・プロジェクト会議が発足した経緯について ・今年度の目標・スケジュールの共有 ・地域生活塾生の交流会を開催について		・地域生活塾生交流会にて、卒塾生から塾評価の聞き取り ・今後の理念について		・第1回交流会(6/15)の振り返り ・卒塾生の評価の取り方について協議 ・その他:プロジェクトの目標の共有	
				・第2回交流会(7/20)の振り返り ・交流会を通じてのまとめ ①しょうがい当事者の方が集まる場の必要性 ②地域生活塾の必要性 ・提言について意見交換	
活動計画(活動予定)					
・交流会まとめ(見える化の方法検討) ・地域生活塾収支概算の確認 ・運営方法別メリット・デメリットの抽出 ①両市の委託を受けて運営 ②既存の福祉サービスの柔軟な活用 ・地域生活塾講座(プログラム)の中身の確認		・交流会見える化(書面の確認と確定) ・地域生活塾収支概算の最終確認と確定 ・地域生活塾講座(プログラム)の中身の確定		・地域生活塾実施要領の確認 ・両市への報告書の地域生活塾の存続を望む必要性、運営上の課題内容の確認	
				・地域生活塾実施要領の確定 ・報告書内容の確定 ・提言資料の確認	
活動日及び活動内容					
2024/8/28		2024/9/25		2024/10/23	
・今後のプロジェクトの動きについて、メンバーで共有 ・地域生活塾卒塾生交流会の場で出た意見を集約し「見える化」する方法を検討 ・地域生活塾運営に関する必要な予算について検討 ・運営方法別メリットデメリットを整理		・特別アドバイザーとして日本福祉大学平野教授に会議に参加。 ・地域生活塾プロジェクトを含む協議会全体の取り組み、地域生活塾の意義、今後の展開等についてご意見等いただく		・地域生活塾卒塾生の交流会のまとめについて協議 ①開催意義②交流会まとめ ・運営方法別メリット・デメリット ①両市の委託費を受けて運営 ②既存の福祉サービスの柔軟な活用	
				提言書(案)の内容を確認 ⇒表記の仕方や盛り込む内容(プログラムの詳細等)について再度協議していく	
活動計画(活動予定)					
提言書(案)の内容確認		提言書(案)の内容確認			
活動日及び活動内容					
2024/12/17		2025/1/22			
・提言書(案)について内容確認し、随時加筆・修正しながら作成		・提言書(案)についての内容を確認			
成果と課題					
・自立支援協議会で実施してきた湖北地域生活塾の取組みを湖北圏域に必要な資源として位置づけ、今後も継続していくため、両市へ提言するための提言書を作成。今後、運営委員会、全体会での承認を受け、両市へ提言していく。					

令和 6年度 長浜米原しょうがい者自立支援協議会 部会報告書

部会名	生活の充実部会①	テーマ	豊かな暮らし			検討課題	就労・住居・地域移行・啓発・災害感染症・余暇・体験・在宅支援・権利擁護・家族の理解		
部会長：西山（湖北タウンホーム） 世話役：鍵弥（ビットイン/ネットワーク事業）	活動計画（活動予定）							1年を通しての成果	
	コア会議の開催								
	活動日及び活動内容								
	2024/8/2								
	・各作業班の協議事項等を共有 ・部会の開催について検討 ⇒10/3013:30～長浜まちセンIC会議室で開催予定								
作業班名	検討課題	活動計画（活動予定）							1年を通しての成果
ステップアップ班	個別ケースを通じて、就労A/B型から一般就労への推進	・就労選択支援サービスモデル事業の勉強会 ・今年度取組みについて意見交換	事例検討		事例検討		事例検討		
		活動日及び活動内容							
		2024/4/18	2024/5/9		2024/7/11		2024/9/12		
		・滋賀県障害福祉課奥田氏に県内のモデル事業について報告いただく ・この会議で実施していきたいことを意見交換	・ピカジップ法の説明 ・ピカジップを用いた事例検討会の実施（就労B型利用の方）		・ピカジップ法を用いた事例検討会の実施（就労B型利用の方）		・ピカジップ法を用いた事例検討会の実施（就労B型利用の方） ・R6.11月頃企業見学予定		
座長 神田（ワークスさばてん）									
作業班名	検討課題	活動計画（活動予定）							1年を通しての成果
当事者サポーター推進班	当事者を支えるサポーター（ピアカン等）の活躍の場の設定	今年度の取組み内容の確認、おおまかな年間スケジュールの検討	・新メンバーと顔合わせ ・今年度年間スケジュールの決定	・研修企画 ・広義でのピアカン活動の具体的な内容の協議（場所・日程・メンバー等）	・研修企画 ・広義でのピアカン活動の具体的な内容の協議（場所・日程・メンバー等）	研修会の企画（事前学習会等を開催）	研修会の企画		
		活動日及び活動内容							
		2024/4/24	2024/5/22	2024/6/26	2024/7/24	2024/8/28	2024/9/25		
		昨年からの継続的な取り組みの共有と今年度の具体的な取り組みについての意見交換	○今年度の取組みについて ・ピアカンの周知（ピアカンとしての関わりの視点を知ってもらう） ・ピアカンの活動の場（広義の意味でのピアカンをモデル的に実施）	・研修会の概要について意見交換	・ピアカンの体験型研修および意思決定支援の研修会を企画 対象：しょうがい福祉サービス事業所（20名程度） 開催日：11/15（金）13:30 ・ピアカン活動の場：今年度下半期に向けて調整	・研修会の開催に当たり、メンバーで「はっ」とした事例を報告し合う ・研修会：令和6年11月8日（金）13:30～に日程を変更 ・研修会に向け、メンバーでピアカウンセリング支援方法学習会	平野教授参加 研修会について ・研修会当日の流れの確認 ・「はっ」とした事例報告 ・当事者同士の支援方法-ピア・カウンセリング実習について事前学習会実施		
座長 宮部（長浜市しょうがい福祉課）									
作業班名	検討課題	活動計画（活動予定）							1年を通しての成果
地域移行推進班	・しょうがい当事者の地域移行の壁となる金銭面の課題に対する施策等の検討 ・個別ケースを通じて、圏域として地域移行を推進する取り組み		昨年度の経緯と今年度の取組みについて共有、意見交換		・地域移行の先進的な取り組み事例の共有		これまでの議論を整理		
		活動日及び活動内容							
			2024/5/21		2024/7/16		2024/9/17		
			○昨年度の取組み・圏域の入所施設、GH見学 ・地域移行推進施策等について協議 ・湖北地域精神しょうがい者支援会議への参加 ○今年度の取組 ・地域移行に必要な金銭的な課題についての協議・検討 ・モデルケースを通じた具体的な地域移行の検討		・家賃補助等について市町独自の施策について共有 ・補助と雇用の両輪で考える地域移行の施策について意見交換		・地域移行推進班の協議の中で出てきた意見や他の部会等で話題になったことをまとめ、論点整理を行う⇒地域移行における「住まいの場」の確保についての議論を行ってきたことを共有、意見交換		
座長 笠松（あそしあ）									

令和 6年度 長浜米原しょうがい者自立支援協議会 部会報告書

部会名		生活の充実部会②		テーマ	豊かな暮らし		検討課題	就労・住居・地域移行・啓発・災害感染症・余暇・体験・在宅支援・権利擁護・家族の理解			
部会長：西山（湖北タウンホーム） 世話役：鍵弥（ビットイン/ネットワーク事業）		活動計画（活動予定）							1年を通しての成果		
		令和6年度第1回 生活の充実部会開催									
		活動日及び活動内容									
		2024/10/30									
		・各作業班より活動内容の報告、質疑応答 ・地域移行の推進について、「誰が」「何をしていくことが必要か」をKJ法を用いて意見交換									
作業班名	検討課題	活動計画（活動予定）							1年を通しての成果		
			企業見学の開催		事例検討						
ステップアップ班	個別ケースを通じて、就労A/B型から一般就労への推進	活動日及び活動内容							・年間を通じて参加事業所内で行き詰っている事例や本人は一般就労を希望するが課題が多い事例等の事例検討を実施。色々な視点で事例を検討することの重要性を再認識できた ・企業見学会を開催し、企業就職についての具体的イメージを持ってもらう機会等を通じて、一般就労の推進の一助を担った		
			2024/11/14		2025/1/9		2025/3/13				
座長 神田（ワークスさぼてん）			・企業見学会および研修会として、2日間連続講座として開催 ・第1日日程：令和6年11月7日…会社見学に向けての準備をしよう ・第2日日程：令和6年11月14日…企業アイリスオーヤマ米原工場見学		・企業見学会の振り返り ・ピカジップ法を用いた事例検討会の実施（就労B型利用の方）						
作業班名	検討課題	活動計画（活動予定）									1年を通しての成果
		研修企画（「ピアカンの視点から学ぶ、訊くことから始める意思決定支援研修」について等）	「ピアカンの視点から学ぶ、訊くことから始める意思決定支援研修」の開催	・ピアカン活動の共有 ・様々なピアカン活動の情報収集		・ピアカン活動の場について情報収集 ・今年度の総括と次年度の活動協議					
当事者サポーター推進班	当事者を支えるサポーター（ピアカン等）の活躍の場の設定	活動日及び活動内容							・広義のピアカン（当事者が複数名いる中で自由に話し合う場等）の実施を目標として共有。 ・目標達成のための第1段階として、支援者の支援が当事者の主体性を奪っていることがあることを、支援者に気づいてもらう機会として、研修会を開催。アンケート結果から概ね伝えることができた ・次年度は、ピアカン活動の場についての協議をすすめていく		
		2024/10/23	2024/11/8	2024/12/25	2025/1/22	2025/2/26	2025/3/26				
座長 宮部（長浜市しょうがい福祉課）		○研修会の企画 ・受講者の決定 ・当日の流れと役割、時間配分、アンケートの内容を確認 ・ピアカウンセリング支援方法学習会を実際にメンバーで実習	○研修会の開催 ・日時：令和6年11月8日13:30 ・場所：長浜まちセン多目的ホール ・受講者：11名（生活介護・相談支援5等） ・受講アンケート結果 非常によかった80% よく理解できた73%	○研修会の振り返り ・アンケート結果共有（良い評価が多く伝えたい事が概ね伝えられた） ・今後も何らかの形で継続⇒ある事業所から職員研修の一環として依頼あり。次年度前向きに検討予定。 ○ピアカン活動の場（事業所との連携）について⇒各自で情報収集							
作業班名	検討課題	活動計画（活動予定）									1年を通しての成果
			「湖北まこも」の施設見学		・施設見学振り返り ・今年度活動報告内容まとめ		次年度における活動について				
地域移行推進班	・しょうがい当事者の地域移行の壁となる金銭面の課題に対する施策等の検討 ・個別ケースを通じて、圏域として地域移行を推進する取組み	活動日及び活動内容							・地域移行における「住まいの場」の確保についての議論を深めることができた ・家賃補助等、市町独自の施策について検討し、また雇用の両輪で考える地域移行の施策が必要であることを共有した		
			2024/11/19		2025/1/21		2025/3/18				
座長：笠松（あそしあ）			○湖北まこもの見学 ・パンフレットに基づき説明を受け、その後45分程度施設見学 ・意見交換		○施設見学振り返り ○今年度活動報告内容まとめ ・活動報告内容について意見交換 ○拠点コーディネーターに期待する具体的役割について意見交換						

令和6年度長浜米原しょうがい者自立支援協議会 部会等報告書

部会名	ライフステージ・専門性部会①	テーマ	人・制度づくり		検討課題	マンパワー・専門性・教育・家族支援・連携・しょうがい特性・福祉サービス・制度・介護給付・委託・相談支援・事業所の環境・支給決定・児童・成人・高齢		
部会長・世話役		活動計画（活動予定）					1年を通しての成果	
		コア会議の開催						
・部会長：湖北相談処すだち 川嵯 ・世話役：ピットイン/ネットワーク事業 鍵弥		活動日及び活動内容						
		2024/9/3		2024/11/18				
		・各作業班の進捗状況の共有 ・他の作業班とつながりをもつ機会として部会を開催 ⇒R6.11.18（月）10:00～12:00長浜まちセン多目的ホール予定						
作業班名	検討課題	活動計画（活動予定）					1年を通しての成果	
		・昨年度の経緯と今年度の取組みについて共有 ・大まかな年間スケジュールの決定	運営会議	・しょうがいのある方、そのご家族への健康推進課としての取組み勉強会（長浜市）	運営会議			・しょうがいのある方、そのご家族への健康づくり課としての取組み勉強会（米原市）
学齢期班	○アドボカシーの視点を中心に ・乳幼児期～学齢期の関係機関の主導役、サービス調整における課題・家族支援（子育て支援、ペアレントメンター）・進路場面での合理的配慮	活動日及び活動内容						
		2024/4/30	2024/5/	2024/6/24	2024/7/	2024/8/	2024/9/4	
		・昨年度の経緯の共有、意見交換 ⇒資源は多くあるが当事者家族や福祉関係者には見えない部分が多い ・圏域の資源が整理できるとよい ・子育てコンサルジュの活動をもっと周知啓発ができるとよい		・長浜市健康推進課に役割や取組みについて説明いただく ・しょうがいのある児童へのライフステージ毎の支援機関等一覧表について取り組んでいく			・米原市健康づくり課より米原市保健事業について説明いただく ⇒質疑応答を行い、理解を深める ・両市の事業体制等を把握し相談窓口が整理されていることは把握。適切な支援機関へつなぐための取組み等を検討していく	
座長 川嵯（すだち）								
作業班名	検討課題	活動計画（活動予定）					1年を通しての成果	
		運営会議	昨年度の経緯と今年度の取組みについて共有、意見交換	運営会議	・（発達G）アンケート内容について ・（セラピストG）研修についての企画	運営会議		・（発達G）アンケート内容について ・（セラピストG）セラピスト研修についての企画
専門的人材班	「PT」「OT」「ST」等のセラピスト同士の連携、障害福祉現場での専門職の視点の共有、事業所を超えた人材の活用の検討 支援者が頼りたい支援者の育成と事業所を超えた人材の活用	活動日及び活動内容						
		2024/4/	2024/5/28	2024/6/	2024/7/23	2024/8/	2024/9/24	
			「発達G」と「セラピストG」に分かれて協議検討 発達G：現場の職員を育成できる人材の圏域のネットワークを作る セラピストG：事業所を超えた人材の活用		各Gで協議 ・発達G：圏域にどのような人材がいるか、専門性向上の取組み把握のためのアンケートを実施予定。内容の協議 ・セラピストG：今年度の取組み「セラピストに対する懇談会」の開催および事業所向け研修について協議		各Gで協議 発達G：アンケートの目的の共有 ・中核的人材とのつながり、仕組みづくり・発達ケアマネの活用法の説明・現場の状況把握・専門的人材の横の繋がり の仕組みづくり。 セラピストG：セラピスト懇談会の進捗状況確認、事業所向け研修会について協議	
座長 井下山（ライフまいばら）								
作業班名	しょうがいのある方の高齢化における課題への取組み	活動計画（活動予定）					1年を通しての成果	
		運営会議	昨年度の経緯と今年度の取組みについて共有 アンケート内容の協議	運営会議	アンケート内容決定、周知	運営会議		アンケート内容について
成人高齢班	しょうがいのある方の高齢化における課題への取組み	活動日及び活動内容						
		2024/4/	2024/5/10		2024/7/12		2024/9/13	
			昨年度の取組みの経緯 今年度の方向性 ・しょうがい分野と介護分野との交流、制度理解、高齢になったしょうがい者独自の制度の発案 ・事業所における高齢化の実態調査（アンケート）について		・アンケート項目（たたき台）について意見交換 ・アンケートに係る今後の流れを確認 ・研修についての意見交換 ・アンケート結果を踏まえた内容ができるとうい		・アンケート修正点の確認 ・アンケートに係る今後の流れについて共有 ⇒11月上旬に通知予定、今年度中に集計結果をホームページ等掲載予定	
座長 氏原（ほおずき作業所） 副座長 曽我（ふくらの森）								

令和6年度長浜米原しょうがい者自立支援協議会 部会等報告書

部会名	ライフステージ・専門性部会②	テーマ	人・制度づくり			検討課題	マンパワー・専門性・教育・家族支援・連携・しょうがい特性・福祉サービス・制度・介護給付・委託・相談支援・事業所の環境・支給決定・児童・成人・高齢	
部会長・世話役		活動計画（活動予定）						1年を通しての成果
		ライフステージ専門性部会の開催						
・部会長：湖北相談処すだち 川 嵯 ・世話役：ピットイン/ネットワーク事業 鍵弥		活動日及び活動内容						
		2024/11/18						
		・各作業班からの活動内容を報告 ・意見交換（アンケート結果の読み取りについて等）						
作業班名	検討課題	活動計画（活動予定）						1年を通しての成果
学齢期班	○アドボカシーの視点を中心に ・乳幼児期～学齢期の関係機関の主導役、サービス調整における課題・家族支援（子育て支援、ペアレントメンター）・進路場面での合理的配慮	KJ法を用いて乳幼児期の相談支援体制や取り組みについての意見交換	運営会議	ワークショップおよびグループワーク 現状の声を①どう考えるか②解決するための方法二つについて意見交換	運営会議	ペアレントメンターについての勉強会の開催		両市における乳幼児期の相談支援体制や取り組みについての説明の機会を設け、現状について把握し、そこから見えてきた課題について整理、解決のための取組みについて検討を行った
		活動日及び活動内容						
		2024/10/25	2024/11/	2024/12/12	2025/1/	2025/2/25		
		・長浜市・米原市の相談体制や取り組みについて振り返り ・グループで意見交換（KJ法） ・相談窓口の明確化、周知の仕方 ・コーディネーター的な役割 ・保護者へのサポート		①について6つの原因や課題が挙がる②について7つの対応策や手段があがる ⇒グループで主な担当機関とその役割について意見交換				
座長 川嵯（すだち）								
作業班名	検討課題	活動計画（活動予定）						1年を通しての成果
専門的人材班	「PT」「OT」「ST」等のセラピスト同士の連携、障害福祉現場での専門職の視点の共有、事業所を超えた人材の活用の検討 支援者が頼りたい支援者の育成と事業所を超えた人材の活用 行動しょうがいの方の受け止めについて、環境調整や人材配置における加算等の検討	運営会議	セラピストG：圏域のセラピスト懇談会の開催、今後の取組みについて 発達G：アンケート結果の協議		セラピストG：圏域ニーズ把握のアンケート内容の検討 発達G：圏域の発達障害者支援体制について	運営会議		セラピストG ・セラピスト懇談会を開催し、圏域のセラピストの横のつながりを作る機会をもつことができた ・次年度、研修会等の開催に向け、事業所のセラピストに対するニーズ等について把握していく 発達G ・圏域の発達しょうがい支援の専門スキルのある支援者の実態把握および発達ケアマネジャーの活用状況について、アンケートを実施し、把握することができた
		活動日及び活動内容						
			2024/11/12		2025/1/28		2025/3/4	
		発達Gアンケートの実施 ・目的：発達しょうがい支援の専門スキルのある支援者の実態把握と発達ケアマネジャーの活用状況について ・対象：生活介護、B型等約65事業所 ・グループフォームでの回答 ・期間：10/15～11/5、・回答数：21	セラピストG：圏域のセラピスト懇談会の開催、今後の取組みについて ⇒研修企画のため、圏域のニーズ把握（アンケート実施）を検討 発達G：アンケート結果の協議		セラピストG：アンケート対象・質問項目等について協議 発達G：発達障害者支援の体制づくりを、事業所と連携して進めるための方法を検討。アンケート結果を元に今後の具体的な施策について協議。			
座長 井下山（ライフまいばら）								
作業班名	しょうがいのある方の高齢化における課題への取組み	活動計画（活動予定）						1年を通しての成果
		運営会議	アンケート結果についての共有、活用について	運営会議	アンケート結果の活用について（結果から見える「現状」と「考察」）	運営会議	・課題への取組み ・年度まとめ	
成人高齢班	しょうがいのある方の高齢化における課題への取組み	活動日及び活動内容						利用者の高齢化の実態把握と高齢化による加地あ把握のため、アンケートを実施し、現状を把握することができた。 今後、アンケート結果から見えてきた課題について協議し、取り組み内容を検討していく
		2024/10/	2024/11/8		2025/1/10		2025/3/14	
		アンケートの実施 ・目的：利用者の高齢化実態把握と高齢化における課題把握のため ・対象：生活介護等約60事業所 ・グループフォームでの回答 ・期間：10/15～11/5、・回答：20	・アンケート結果を作業班で共有し、感想、意見交換 ・アンケート結果の活用について協議 ⇒今からできること、将来的にできればよいことを焦点にして、具体的に何ができるかを検討していく		アンケート結果をまとめ、全体会議で報告予定。結果から見えてくる実態、考察について意見交換。			
座長 氏原（ほおずき作業所） 副座長 曽我（ふくらの森）								

部会名		社会資源・環境部会①		テーマ	まちづくり		検討内容	・就労・住居・地域移行・啓発・災害感染症・余暇・体験・在宅支援・権利擁護・家族の理解	
部会長：河井（えがお） 世話役：鍵弥（ビットイン/ネットワーク事業）		活動計画（活動予定）							1年を通しての成果
		コア会議の開催		コア会議の開催					
		活動日及び活動内容							
		2024/8/2		2024/9/24					
		・各作業班の進捗状況の確認 ・3つの班活動の連動のための研修会の企画		・研修会の内容、講師について協議					
作業班名	検討課題	活動計画（活動予定）							1年を通しての成果
権利擁護・虐待防止班	・誰もが暮らしやすいまちづくりを目指し、タウンウォッチを通して圏域のバリアフリーの状況を把握する ・移動手段の充実に向けて検討 ・湖北圏域独自の自己チェックシートの作成	昨年度の振り返り 今年度の取組み内容について	タウンウォッチの振り返り	タウンウォッチについて 虐待研修について 湖北独自自己チェックシートについて	タウンウォッチについて 虐待研修講師について 湖北独自自己チェックシートについて	タウンウォッチについて 虐待研修について 湖北独自自己チェックシートについて	タウンウォッチについて 虐待研修について 湖北独自自己チェックシートについて		
		活動日及び活動内容							
		2024/4/25	2024/5/23	2024/6/27	2024/7/25	2024/8/29	2024/9/26		
		座長 鍵弥（ビットイン）	・昨年度の取組み内容を報告 ・今年度の取組み内容について ・タウンウォッチについて	・タウンウォッチを実際に行って気づいたこと等を共有 ・県の取組み（共生社会サポーター、リクルーター）についての協力内容について	・タウンウォッチについて 振り返り、今後の取組み検討（第2弾の実施） ・虐待防止研修 研修講師・内容の意見交換 ・自己チェックシート	・タウンウォッチについて 第2弾実施に向け意見交換 ・虐待防止研修 開催時期、講師の選定 ・自己チェックシート チェックシートの活用方法について協議	・タウンウォッチにつて 第2弾エリアの選定、実施日、グループ分け ・虐待防止研修について ・講演内容について意見交換	・タウンウォッチにつて 実施日：10/24エリア：米原駅周辺（東・西）、夕方の時間帯黒壁エリア、長浜駅南側エリア ・虐待防止研修について 講演内容について意見交換 ⇒10/3座長等と講師打合せ	
作業班名	検討課題								1年を通しての成果
重介護・医療ケア検討班	・圏域の医療的ケア児/重心児等と家族の状況について聞き取り調査を実施し、現状や課題を把握する ・災害対策の検討 ・研修会の開催（摂食について、小児リハビリ等）	今年度の取組みについて	実態調査について	実態調査について	実態調査の振り返り 県医療型短期入所情報提供	「社会資源調査における基本的な視点」学習会			
		活動日及び活動内容							
		2024/4/18	2024/5/18	2024/6/20	2024/7/18	2024/8/22			
		座長 近藤（てくてく）	・自己紹介 ・昨年度および今年度の取組みについての共有 ・実態把握のためのアンケート調査内容の協議・検討	・実態調査（6/20）に向けた話し合い ・災害対策について ・研修会の開催について	実態調査を実施 ・対象：長浜養護学校在席の医療的ケア/重症児の保護者5名参加 ・内容：アンケートの聞き取り調査を実施	・実態調査の振り返り ・県より医療型短期入所の現状や取り組み状況について説明 ・R5年度重心および医ケア児等実態調査の報告	・あるべき姿検討班と合同で学習会に参加		
作業班名	検討課題	活動計画（活動予定）							1年を通しての成果
あるべき姿検討班	（仮）「湖北地域にて必要なサービスを必要な時に安心して受け続けていけるために、今考えておくべき事、これから取り組むべき事」を重要ポイントとして検討をすすめていく 調査 Ⅰしょうがい福祉サービスに関わる職員従事者の総数把握 Ⅱしょうがい福祉サービス利用状況及びニーズ調査				・今年度取組みについて共有 ・今後の具体的な動きについて検討	「社会資源調査における基本的な視点」学習会			
		活動日及び活動内容							
					2024/7/4	2024/8/22			
		座長 山瀬（ひかり福祉会）			・あるべき姿検討班の目的を共有 ・取組むテーマについての説明・共有 ・アンケート調査で明らかにしていきたいこと等を意見交換	・目的：社会調査実施するにあたっての基本的な考え方などを勉強する機会を設けた。 あうべき姿検討班と重介護医療ケア検討班の合同で開催することとした。 講師：橋川准教授（金城学院大学）			

部会名	社会資源・環境部会②	テーマ	まちづくり	検討内容	・就労・住居・地域移行・啓発・災害感染症・余暇・体験・在宅支援・権利擁護・家族の理解			
部会長：河井（えがお） 世話役：鍵弥（ビットイン/ネットワーク事業）		活動計画（活動予定）						1年を通しての成果
		現地視察研修の実施						現地視察研修を実施し、他圏域の現状や取り組みについて学ぶ機会を得ることができた。改めて、湖北圏域の取り組みについて考える機会となり、現状の取り組みを進めていくことの重要性を再認識した。
		活動日及び活動内容						
		2025/1/20						
		・甲賀および大津圏域の施設（やまなみ工房、障がい者支援センターかがやき、G-square）見学 ・社会資源環境部8名参加						
作業班名	検討課題	活動計画（活動予定）						1年を通しての成果
権利擁護・虐待防止班	・誰もが暮らしやすいまちづくりを目指し、タウンウォッチを通して圏域のバリアフリーの状況を把握する ・移動手段の充実に向けて検討 ・湖北圏域独自の自己チェックシートの作成	米原駅周辺およびタ方の長浜駅周辺の飲食店等タウンウォッチの実施	研修会の振り返り	タウンウォッチの振り返り 虐待防止湖北版自己チェックシートについて	虐待防止湖北版自己チェックシートの作成について	両市からの虐待の現状報告	今年度の取り組みのまとめ②	・タウンウォッチを通じて、地域への啓発活動や現状を改善するきっかけを作ることができた（米原駅のエレベーターの表示、米原市多目的トイレのドア改修） ・虐待防止研修の開催し、日頃の支援を振り返る機会を作った ・次年度、虐待防止の取り組みとして自己チェックシートを作成予定
		活動日及び活動内容						
		2024/10/24	2024/11/28	2024/12/20	2025/1/23	2025/2/27	2025/3/27	
		座長 鍵弥（ビットイン）	・米原駅：2Gで西口・東口周辺実施。米原庁舎内や飲食店、スーパー等を訪問 ・長浜駅：2Gで豊公園・黒壁・駅まちテラス等を訪問	＜虐待防止研修およびタウンウォッチ振り返り＞・R6.11.2213:30～ ・米原市コンベンションホール ・講師：新井在慶氏（愛知県ふいーる工房統括）・47名参加 ・講義・グループ意見交換	・タウンウォッチ振り返り：現状、気づいたことを共有。⇒米原駅に案内表示を設置、多目的トイレドアについて ・自己チェックシート作成の目的、目指すものについて意見交換	・タウンウォッチ後⇒米原市多目的トイレのドアを改修工事済 ・自己チェックシート（案）について意見交換		
作業班名	検討課題	活動計画（活動予定）						1年を通しての成果
重介護・医療ケア検討班	・圏域の医療的ケア児/重心児等と家族の状況について聞き取り調査を実施し、現状や課題を把握する ・災害対策の検討 ・研修会の開催（小児リハビリ、摂食について等）	摂食・嚥下研修会 講師：言語聴覚士中谷氏 対象：医療・福祉・教育関係者	上半期の振り返り等	実態調査結果報告 指示書作成プロジェクトについて	指示書作成プロジェクト びわ湖あさがおネットの勉強会	今年度の取り組みのまとめ		・学齢期の医療的ケア児・重心児の実態を把握するための聞き取り調査を実施し、現状と課題を把握することができた ・摂食・嚥下研修会を開催し、支援者が摂食や嚥下についても考える機会を作った ・次年度、福祉サービスを利用する際に求められる指示書の統一について、協議・検討していく
		活動日及び活動内容						
		2024/10/17	2024/11/21	2024/12/19	2025/1/16	2025/2/20		
		座長 近藤（てくてく）	摂食・嚥下研修会 講師：言語聴覚士中谷氏 対象：医療・福祉・教育関係者 当日参加者：48名 会場：南郷里まちづくりセンター	・上半期の活動振り返り ・摂食嚥下研修会の振り返り・アンケート結果を共有 ・指示書作成プロジェクト ・視察研修について（R7年度）	・実態調査結果について米原元又様⇒次年度就学前児へのアンケートができるかとのではないか ・指示書作成プロジェクトについて⇒指示書についての圏域の状況を共有。情報の活用方法として、「びわ湖あさがおネット」の活用はどうか。詳細について勉強会を実施	・びわ湖あさがおネットを運用の滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会よりシステムについての説明・質疑応答 ・勉強会後に意見交換 ⇒まずは圏域で指示書様式統一について取り組んでいく		
作業班名	検討課題	活動計画（活動予定）						1年を通しての成果
あるべき姿検討班	（仮）「湖北地域にて必要なサービスを必要な時に安心して受け続けていけるために、今考えておくべき事、これから取り組むべき事」を重要ポイントとして検討をすすめていく調査 Ⅰしようがい福祉サービスに関わる職員従事者の総数把握 Ⅱしようがい福祉サービス利用状況及びニーズ調査	アンケート調査骨格の確認、調査の目的を定める	アンケート調査骨格作成	アンケート調査骨格作成	アンケート調査骨格作成			湖北地域において、必要なサービスを必要な時に安心して受け続けられるよう、現状把握のためのアンケート調査を実施することを共有した ・次年度、アンケート調査の実施に向け、アンケート項目等を検討していく
		活動日及び活動内容						
		2024/10/1	2024/11/	2024/12/	2025/1/	2025/2/	2025/3/	
		座長 山瀬（ひかり福祉会）	「職員不足が顕著、加えて少子高齢化と言われる昨今、将来湖北圏域の障害福祉サービスが成り立つかが不安」にに伴う疑問・関心をKJ法（カードに記載）にて書き出す	座長とオブザーバーを中心にアンケート調査の骨格について検討	座長とオブザーバーを中心にアンケート調査の骨格について検討	座長とオブザーバーを中心にアンケート調査の骨格について検討		